

O.G アドバイザーからのメッセージ



高専で学んだこと

おうち だ ゆう か
大内田 優香

2016年度 電気工学科卒業

2018年度 専攻科 産業技術システム工学専攻 生産・情報システム工学コース修了

私は福島工業高等専門学校の専攻科を修了後、地元企業であるアルプスアルパイン株式会社(旧:アルパイン株式会社)に就職し、自動車に搭載されるディスプレイオーディオ製品の電気回路を設計する仕事をいわき市でしています。

職場では、性別や年齢に関係なく協力しながらモノづくりに取り組んでいます。業務の中では、製品として動作するために必要な部品を一つ一つ選び設計しています。日々の業務の中で、福島高専で学んだことが生きてると実感しています。授業や研究時に習得したプログラミングスキルを活用し、設計開発に必要な検証環境を構築することも多くあります。

研究では、自ら調査し学び、時には先生方のアドバイスをいただきながら取り組み、学会など学外場で発表することも経験しました。論文や資料のまとめ方、発表の仕方についても、アドバイスをいただきながら取り組むことで報告の仕方や資料のまとめ方を身に付けることができました。

研究成果を内外に発表するうえで、論文やプレゼンテーション資料をまとめた時に、先生に指導していただき、そこで印象深かった学びは、実験や資料を作成する前にストーリーを作ることです。それは、仕事においても常に意識して取り組むようにしています。

私の担当している製品の設計には、日本人だけではなく海外拠点のメンバーも含まれることから、開発を進めるうえでのストーリーをあらかじめ準備し、日々コミュニケーションをとりながら一緒にモノづくりをしています。

本科5年間と専攻科2年間の計7年間をクラスメイトや、優しく丁寧に教えて下さる先生方のもとでじっくりと同じ環境で学ぶことができる福島高専は、私にとってとても良い学び舎でした!!

男女共同参画・キャリア教育支援室の女子学生支援

1. 女子学生に対するキャリア・進路支援

2. 女子学生に対する勉学生活支援

3. 女子中学生の入学支援

キャリア・コンサルティング実施日/
毎週水曜日 13:00~17:00

奥寺 絵里 / 2級キャリアコンサルティング技能士
(株)飛馬オープンカレッジいわき校

[コミュニケーション情報学科3期生(現 ビジネスコミュニケーション学科)]



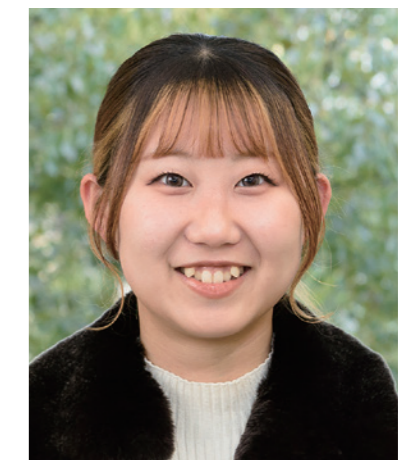
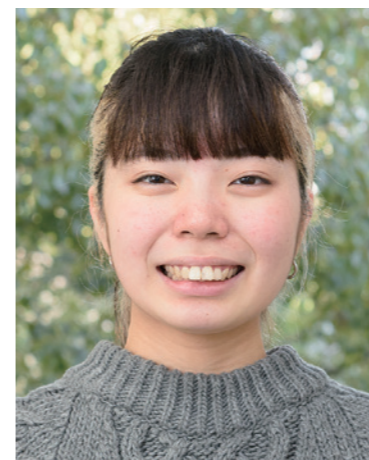
奥寺絵里さん

女子中学生のみなさんへ

NEW START

No.18

未来へ向かって輝く福島高専女子!!



発行日 / 令和8年3月18日
福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室発行
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp>



福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室

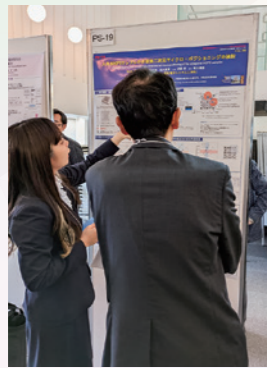
未来へ向かって輝く福島高専女子!!

学会発表を通して実感した 高専での学び

すずき あいり
鈴木 碧里
電気電子システム工学科5年



私は反磁性グラファイトを用いたマイクロポジショニングの研究に取り組み、その成果を第34回MAGDAコンファレンス(MAGDA2025)にて発表しました。専門分野を早期から深く学べる高専の環境だからこそ、自ら考え、発信する力が培われたと感じています。学会では多くの研究者と交流し、大きな刺激を受けるとともに、視野を広げることができました。実践的な教育と挑戦の機会が豊富な高専は、将来エンジニアを目指す人にとって最適な学びの場であると実感しています。



◀MAGDA2025での発表の様子

直感より検証を信じたものづくり

たかぎ ゆりあ
高木 ゆりあ
都市システム工学科4年



高専デザインコンペティション全国大会への参加を通じ、課題を感覚で捉えるのではなく検証と改善の積み重ねによって解決し、成果へ結びつける力を身につけました。本番用の橋に加えて、試作品を作成し、本番同様の試験を実施したことで想定外の課題を事前に発見し、補強修正を行いました。さらに橋全体だけでなく部材単位で検証を重ね、強度向上に尽力しました。その結果、52校中16位と前年度を大きく上回る成績を収めました。今後は、自分の考えに固執せず、多角的な視点を持ち柔軟に判断できる姿勢を大切にしていきたいと考えています。



▲橋作成時の打ち合わせの様子



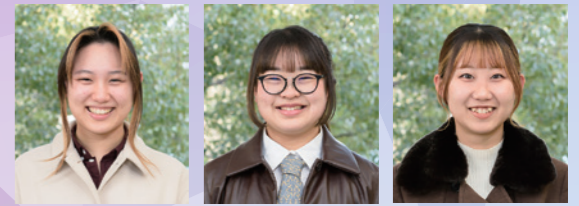
▲橋大会中の写真



▲載荷後の写真

湯本の魅力、どうデザインする？

たなか はるな なかしま まなみ まさい さあや
田中 陽菜 / 中島 愛心 / 政井 咲綾
ビジネスコミュニケーション学科4年



福島大学との共同研究で、いわき市の観光魅力を高めるため、湯本のフラ文化と温泉を活用した体験プログラムを企画・運営しました。実際にフィールドワークに行き、首都圏や地元の若者が湯本温泉や自然を楽しめる工夫を考える中で、湯本の魅力や地元の方の温泉への思いに触れました。自分たちのアイデアを基に、試行錯誤しながらイベントを作り上げ、参加者が楽しむ姿を見て思わず笑顔になりました。今回の経験は、自己成長にもつながりました。中学生の皆さんも、自らが楽しむ気持ちを大切に挑戦してみてください!



▲名物ガイドに弟子入り



▲温泉株式会社に入社



▲観光のプロと作戦会議

海外インターンシップで広がった 私の世界

おおやま みずき
大山 瑞稀
専攻科ビジネスコミュニケーション学専攻1年



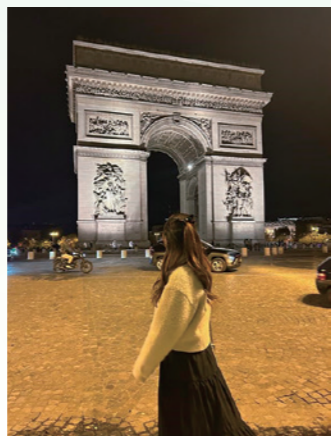
私はフランスのIUTという学校で、海外インターンシップを行いました。現地では、ファッション産業と環境問題の関係について調べ、アンケート調査やプレゼンテーションを行いました。言葉や文化の違いから、コミュニケーションや生活に苦労しましたが、積極的に話しかけるよう努力しました。この経験を通して、フランスでは環境を守る意識が日常生活や産業の中に自然に取り入れられていることを学び、世界の広さと多様な考え方を知ることができました。皆さんも、多様な国際プログラムを持つ福島高専で新たな挑戦をしてみませんか?



◀月に1回のマルシェ

▶パリの観光

▼学校の様子



柔道部での活動を通じて得られた 「人とのつながり」

せきね しおり
関根 史織
機械システム工学科2年



私は、昨年度と今年度全国高専体育大会柔道競技に出場しました。夏休み中、柔道部の活動日程が合わずに困っていたところ、私が参加できる日に合わせて日程を変えていただき練習できるようになりました。そんな優しい先輩方や同級生にたくさんアドバイスをもらい、大会に出場することができました。柔道部のメンバーとは練習後のおしゃべりや学園祭の模擬店出展などでも楽しく過ごしています。これからも一緒に活動したいと思っています。皆さんにもいろいろな人との出会いや経験を大切に、将来につなげてほしいと思います。



◀全国高専大会優勝

▶東北高専大会優勝



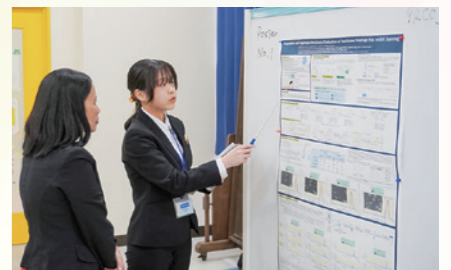
▲東北高専大会での試合の様子

SDGsを学ぶ国際会議での経験

いとう るな
伊藤 るな
専攻科産業技術システム工学専攻
化学・バイオ工学コース2年



昨年度、本校で開催された国際会議9th Regional Conference on Campus Sustainability (9RCCS)では、海外から来た先生や学生に向けて英語による研究発表を行う機会をいただきました。私は新しい点眼薬の開発に関する研究成果を発表しましたが、研究室に短期留学していたフランス人留学生との英語によるコミュニケーションが大きな支えとなりました。また、工学とビジネスが連携して持続可能な社会を目指すというテーマのもと、他大学による幅広い分野の発表を聴講しました。専門分野を超えて社会課題について学びを深められたことは、本学ならではの貴重な経験であり、進学後の自分の成長を実感できた機会でした。



▲9RCCSで説明の様子



▲9RCCSで質問に対応の様子